

新興国向けサーマルCTPの普及モデルを発売 ～ボリュームマーケットの製版内製化によるコスト削減と短納期対応に貢献～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのほど、サーマルCTP^{※1}の新世代エントリーモデル「PlateRite(プレートライト) 8600Mシリーズ」を開発。主に世界の新興国市場を対象に、2011年4月から販売を開始します。

2010年には、A4サイズ8ページモデルのCTPの販売台数において、中国やインドを中心とした新興国が6割^{※2}を超えるなど、急激な経済成長を見せる新興諸国の印刷会社では、CTPの導入による製版内製化のニーズが高まっています。このような世界的動向を背景に、主に製版を外注している新興国の印刷会社を中心としたボリュームマーケットにおいて、設備の導入および運用の容易さと、高品質の印刷版出力を両立する、コストパフォーマンスに優れた新たな普及タイプのCTPが求められています。

今回発売する「PlateRite 8600Mシリーズ」は、世界トップシェア^{※2}を誇るサーマルCTP装置「PlateRiteシリーズ」ならではの優れた技術と性能をコンパクトなボディーに継承し、生産性のニーズに合わせてS、Eの2種類のモデルをラインアップ。両タイプとも、極めて簡単な操作で印刷版を直接作製でき、直接描画による品質向上が期待できます。また、製版工程の内製化が可能のため、コスト削減と短納期対応に大きく貢献する装置となっています。

当社は、今回の「PlateRite 8600Mシリーズ」の発売により、「PlateRiteシリーズ」のラインアップのさらなる強化を図るとともに新興国のデジタル化のニーズに応え、一層のシェア拡大を目指していきます。

* この装置は、2011年4月9日(土)から13日(水)まで中国・広東省の「広東現代国際展覧センター」で開催される印刷関連の展示会「PRINT CHINA 2011」において、実機を展示してご紹介します。

※1 CTP (Computer to Plate)

レーザーを使用し、印刷用のデジタルデータを直接印刷版に描画する手法。国内外で急速に普及し、多くの先進国では印刷製版方法の標準となっている。

※2 当社調べ

<販売開始日>

2011年4月1日

PlateRite 8600M-S

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー ビジネス統轄部 マーケティング・コミュニケーション課:
Tel 075-414-7610 Fax 075-417-2705 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目